

高松学習館運営協議会（令和4年10月）会議録概要

開催日時 令和4年10月26日（水曜日）午前9時30分～午前11時

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 吉田理恵（立川市社会福祉協議会）
梅田茂之（自治会連合会栄町支部）
橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）
栗原政子（学習館利用団体）
難波敦子（学習館利用団体）
結城まり子（学習館利用団体）

欠席 4名

[事務局] 榛澤尚武(高松学習館係長)、富田瑞代(会計年度職員)

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 副会長あいさつ 皆さん、おはようございます。先日寿教室芸能フェスティバルを見に行ってきた。活気があり、80代、90代の高齢者の方々がお元気に舞台発表されていて素晴らしいと思った。

2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
 - ・「きらり・たちかわ たちかわ市民交流大学 活動の記録」発行
令和3年度の事業のとりまとめとなっている。ぜひ目を通していただきたい。
 - ・寿教室芸能フェスティバル（10/19実施）について
コロナ禍で時間短縮、座席指定、手指消毒、マスク着用などの感染症対策を講じて実施した。本日の会議でプログラムを配布した。
栗原委員（高松寿教室委員長）より当日の様子について報告があった。寿教室ではバスハイクと芸能フェスティバルを隔年で実施している。コロナ禍で久しぶりの開催となった。寿教室の会員は一生懸命に練習を重ねて本番で発表することができて良かった。舞台への長い移動ルートが高齢者には厳しかった。座席指定で分かりやすかった。昼食はなくて早く終わったのが残念だった。見学者も来てくれて楽しく過ごせた。練習には来るが、舞台は無理という会員もたくさんいる。学習館に足を運び身体を動かしたりお互いに話をするだけでも高齢者にとっては健康維持につながる。
来賓として来場した難波副会長から感想があった。平均年齢が80歳以上ということで皆さんお元気に動かれていて驚いた。
 - ・高松町ふれあい健康フェア（10/23実施）について
第五小学校で高松地区の健康フェアが開催された。正式決定が遅かった

が、学習館は栗原委員が指導する「千代紙人形づくり」のワークショップで参加することができた。栗原委員が予め簡単につくることができるキットをたくさん準備してくれた。ワークショップ参加者は25人。他のイベントと重なったせいか、全体的に来場者は少なく残念だったが、参加者は熱心に実習していた。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 地域活性化事業：新たに開催日程が決定した事業について説明があった。
- ・ ファミリーコンサート(11/12 実施)の当日スタッフについて確認した。

司会：梅田会長（午前・午後）

受付：吉田委員（午前・午後）、栗原委員（午前）、結城委員（午後）

当日は午前のスタッフは午前10時集合、午後のスタッフは12時30分集合。

- ・ 東京学芸大学との連携事業(1月)について

1/8(日)に実施する事業について、学生とうち合わせをした内容をもとに広報原稿案を提出した。タイトルは「冬の思い出かまつり～お正月を楽しんじゃ王～」で、お正月あそびや昔あそび（案として書初め、立川かるた、立川すごろく、工作として紙コップけん玉）等を体験するという内容で進めることになった。

対象は小学生、定員は20人、事前申込制とする。

- ・ 「書初め」は難波副会長より市民リーダーで適任の講師を確保してくれている。道具（筆）は講師の方で手配できるか検討していただいている。学芸大に書道科があるので確認していただいている。墨汁で汚れることを想定して、広報原稿と受付時に汚れてもいい服装でということ添える。
- ・ 「立川かるた」は難波副会長が制作に関わっており、1セット所有している。事務局の方も図書館で貸出しを依頼中。
- ・ 「立川すごろく」は錦学習館まつりに関わる学芸大の学生が製作した。クイズに解答すると多くマス目を進める。
- ・ 「紙コップけん玉」は学生の方で簡単に作ることができるということで提案があった。
- ・ 「昔あそび」のアイデアとして、委員から「お手玉」、「おはじき」、「どんぐりコマ」などが挙げられた。学生の方に伝えて検討してもらうことになった。「お手玉」はワークショップ経験のある学習館利用サークルに事務局より打診することになった。
- ・ 参加の小学生を3つのグループに分けて30分で3つのコーナーを回る形になるが、講師が子ども6人～7人に対応できるか気になる。書道ならお手本を置いておくとか、アシスタントをつけてもらう等、工夫できると思う。習字か硬筆かを選択できる

かどうかも含め、難波副会長から講師に確認する。

- ・ 学生の人数が少ないため、地運協委員の協力が必要。当日応援可能な委員の確認をした。梅田会長、難波副会長、吉田委員、栗原委員が当日スタッフとして従事可能。
- ・ 今後の予定として、次回 11/10 に学芸大で第 2 回うち合わせをする。11 月中旬には内容を確定し、11/末には PR ポスター、ちらしを作成する。

(3) その他

- ・ 10/29 都市社連協第 2 ブロック研修での発表について、梅田会長と難波副会長より映像紹介と説明があった。当日は難波副会長が市民リーダーと学芸大連携事業「夏の思い出たかまつり」について発表する。
- ・ 地域学習館運営協議会交流会：11 月 25 日(金)午後 6 時 西砂学習館にて交流会出席予定者：梅田会長、難波副会長、吉田委員、橋本委員の予定出席者については次回会議で最終確認をする。
- ・ 次回の開催日：11 月 16 日(水) 午前 9 時 30 分～11 時
- ・ 今後の開催予定(第 4 水曜午前)：11/16・12/21・1/25・2/22・3/22
*祝日と年末は第 3 水曜日

4. 地域課題共有

- ・ 社会福祉協議会：前回お話した 10/30 立川競輪場でのハロウィンパーティの主催は高松町子ども会連合会。300 人超えの子どもが参加予定で盛り上がると思う。11 月～12 月は地域活動が活発になっている。11 月は第二小学校と第五小学校で防災訓練がある。学習館のすぐ近くの包括支援センターは地域交流スペースをあけて地域の方々に利用していただく企画を検討中。

以上